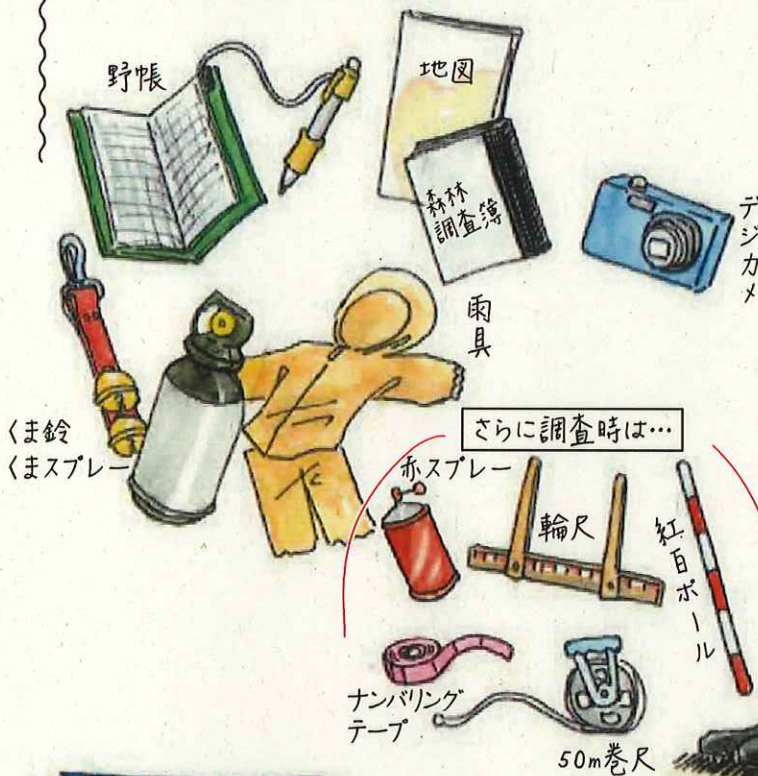


# 森林官

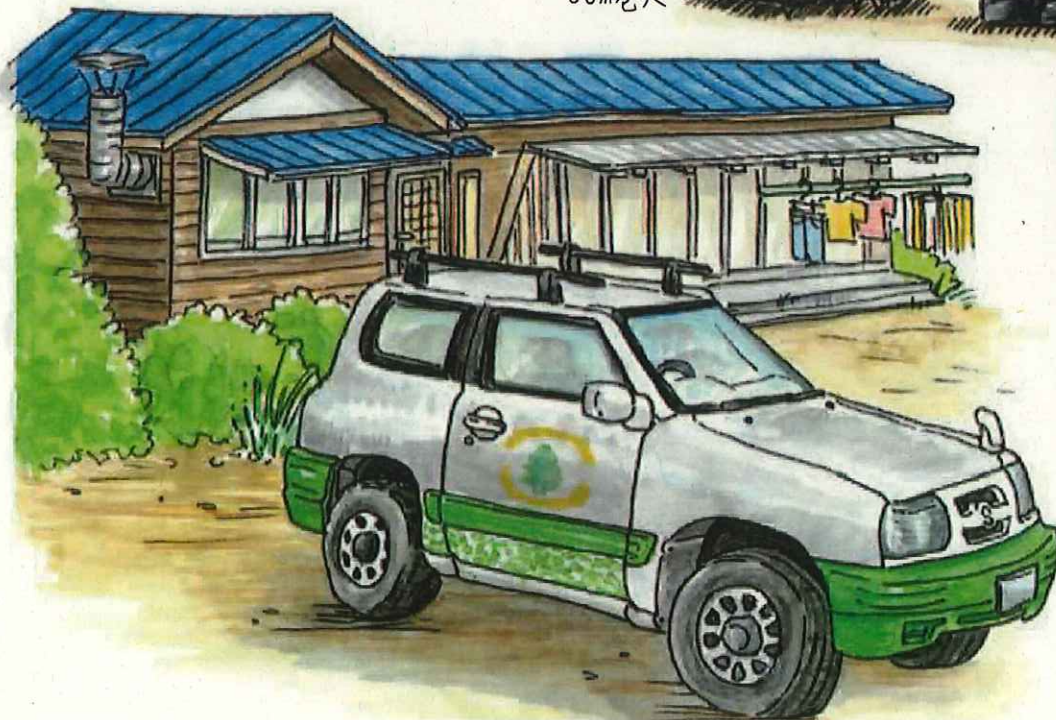
## 森林官とは

全国各地にある広大な国有林を管理する最前線の林野庁職員です。国有林の巡視や調査、間伐などの事業の監督、地元の自治体や住民との連絡調整など多岐に渡ります。

## 基本アイテム



## 森林官スタイル



## 森林事務所と森林パトロールカー

全国で約840人いる森林官が勤務する森林事務所は、宿舎が併設されているところもあります。森林官用4WDの森林パトロールカーには、緑の唐草模様が施されています。



## 森林官の仕事

何といたって自分の担当エリアの国有林を歩いて、森林の現状を把握するのが第一任務です。そのために重要なのが「**施業実施計画図**」と「**森林調査簿**」です。国有林の現状を正確に把握するため、森林の状態の巡視や調査を実施しています。

それを踏まえた上で、国有林野の間伐や除伐等の施業の計画や、造林等の請負作業の監督、国有林と民有林の境界の適切な管理を行っています。このほか、地元の自治体や住民との連絡調整など様々な取り組みを行っています。

### 施業実施計画図

国有林の情報を記載した縮尺1/20,000の地図です。国有林は沢や尾根で大きく分けた林班、さらにその中で生育している樹種、林齢などで林小班に分けられています。

道(林道、作業道)や地形のほか、国有林の区画ごとに生育している樹種や林齢までが記載されています。森林官は地図と現場を比較しながら各種業務を行っており、地図の記載内容に変更の必要があれば、森林官からの情報を基に地図の修正を行います。

(イラストは国有林の境に異常がないか見まわす森林官)

### 森林調査簿

林		原	
面積	樹種	面積	樹種
067	スギ	50	54
10	ヒノキ	50	54
計	計	100	100
単	N計		

### 森林調査簿

林小班ごとの面積や生育している樹種や林齢の情報のほか、地質、施業計画、保安林などの法令指定等が掲載されている簿冊です。

\* 調査簿も施業実施計画図と同様、調査簿の記載内容の変更の必要があれば、森林官からの情報を基に調査簿の修正を行います。



# 森林官の仕事

森林官は、日本の国土の2割を占める国有林の最前線で重要な役割を果たしています。

今回は、森林官の担っている多様な業務の中から代表的なものをご紹介します。



## パトロール

国有林の管理に不可欠な業務が、森林官によるパトロールです。山火事や不法投棄の防止、民有地との境界の管理などのため、年間を通して行っています。



## 国有林の調査

森林官の重要な業務に国有林の調査があります。代表的なものは間伐等の実施に必要な立木の調査(収穫調査)です。

野生動物による被害の防止などのため、生息状況を調査するカメラの設置や、動物がたべる木の実の調査などを行っています。

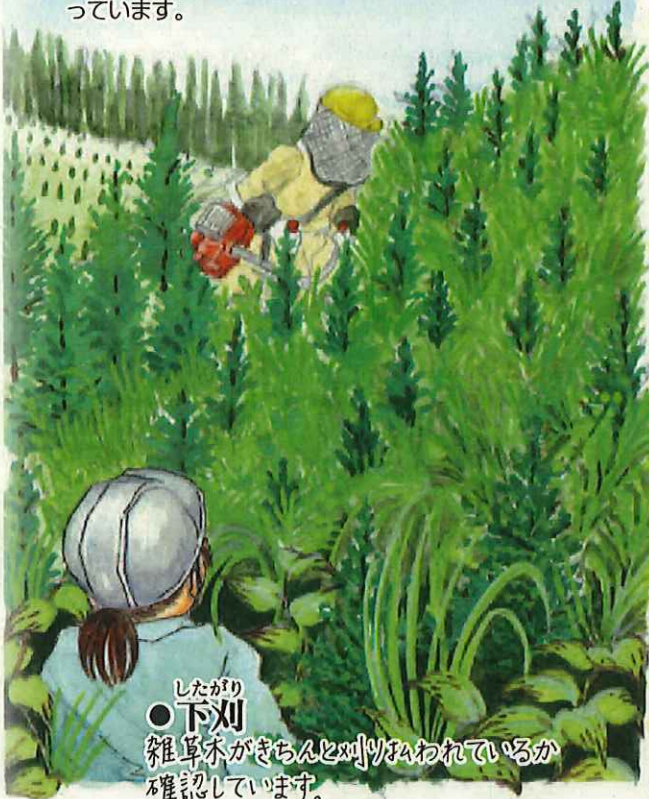


しゅうかくちようさ  
●収穫調査  
樹木の成長を確認するため、木の高さや直径を測っています。



## 事業の監督

森林官の行った調査結果に基づいて、国有林では、間伐や造林などの事業を実施しています。森林官は、発注された事業が適切に実施されているかの監督を行っています。



したがり  
●**下刈**  
雑草木がきちんと刈り終わっているか確認しています。



うえつけ  
●**植付**  
植え付ける苗木の長さの確認や、苗木がしっかりと植え付けられているかの確認をしています。

## 森林事務所での業務

森林官の勤務している事務所を「森林事務所」と呼んでいます。事務所では、調査結果のとりまとめや報告書の作成などを行っています。また、国有林の最前線として、地域の方からの幅広い相談への対応も重要な事務となっています。



イラスト：平田 美紗子



かんばつ  
●**間伐**  
樹木の伐採作業がしっかりと行われているか確認しています。